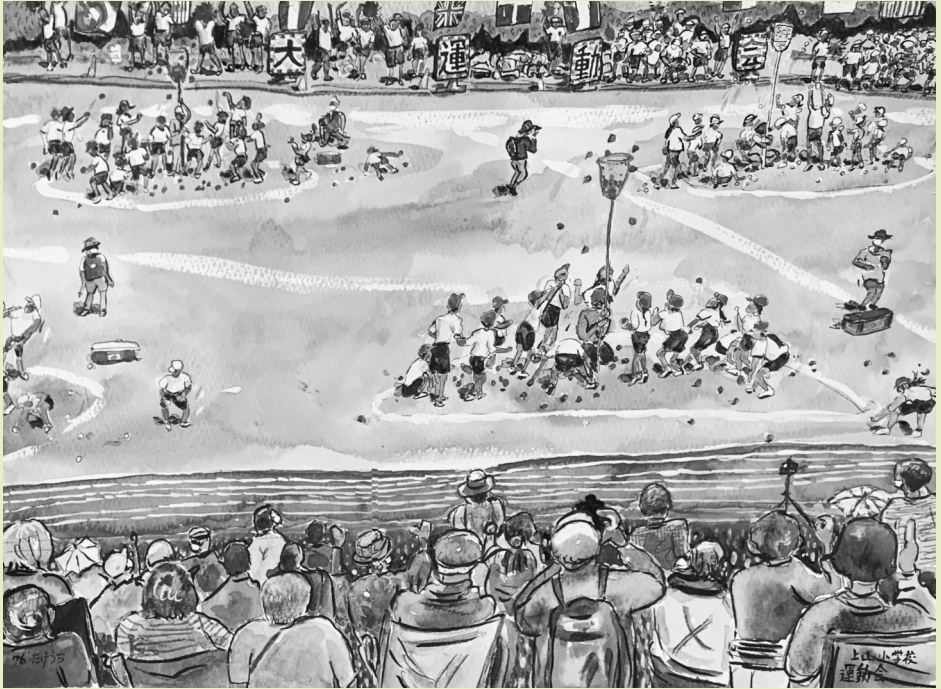


かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かかしのまち

第270号 2023年10月



「上山城」からのたより 初秋 第171便
上山城

上山温泉秋祭り『踊り山車』～屋台山車の記憶～
小松 正明

わが町再見『藤井松平』③松平信将侯の時代2
鎌上 宏

ふるさとへの便り 70回 「山びこ学校」
武田 幹雄

連載 エッセイ「思い出の始末」
橘 千枝

「殉難二輪草」を鑑賞して
桜井 和敏

山形大学花笠踊りグループ「四面楚歌」
大武 芳子

管見の楽しみ ④ 葵のご紋との出会いなど
犬石 秀実

「山内典子遺書」の謎【第2回】
板垣 和男

随想 金子という苗字の人
佐藤 藤三郎

「上山城」からのたより 初秋・第171号

【常設展示室から】抽選で景品が当たる、クイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。

前号でも紹介しました上山ゆかりの建築家 佐野利器の業績について、今回もお話しさせていただきます。まず、前号と重複しますが利器の略歴を記しておきます。利器は明治十三（一八八〇）年に山形県荒砥（現白鷹町）の山口家に生まれ、米沢中学在学時に上山町の佐野家の養子となり、その後、旧制第二高等学校から東京帝国大学建築科に進学し耐震建築の研究に取り組み、大正四（一九一五）年、「家屋耐震構造論」で工学博士号取得。以後、関東大震災後の復興事業の委員を務め、東京帝国大学・日本大学・東京工業大学で教鞭をとり、清水組（現在の清水建設）の経営に関わるなど、長きにわたり第一線で日本の建築界をリードした人物となります。

この輝かしい業績の他に、利器は、みなさんが現在、何気なく目している「あるもの」を日本に定着させた人物でもあります。一つ目は「メートル法」です。今から七十年ほど前、日本では「長さ・面積」の表記方法は、「尺貫法」・「ヤード・ポンド法」・「メートル法」の基準の異なる三種類の方法が乱立する、まさに「戦国時代」の様相を呈していました。その状況を憂いた利器は、世界基準の「メートル法」への統一を目指し、その普及に尽力。そのかいあってか、昭和二十六（一九五二）年、計量法が制定され、公式書類では「メートル法」表記が義務付けられました。

もう一つは「ローマ字」です。ローマ字も、今から七十年ほど前の日本では、「訓令式」・「ヘボン式」・「日本式」の三種類の表記方法が存在する、これまた「戦国時代」の様相を呈していました。国はその統一を目指し専門家による会議を開催しますが、意見はまとまらず……。そんな中、昭和二十七年三月、利器は国が設置した国語審議会の会長に任命され、翌年、ローマ字表記の統一基準として「第一・二表（訓令式を基にした新たなローマ字表記方法）」を提案。この案を政府が採用し、昭和二十九年、国の定めるローマ字表記の基準と定め、そして、現在にいたっています。



大礼服を纏う佐野利器
(企画展展示予定・個人寄贈)
大正10年撮影

上山ゆかりの建築家 佐野利器の意外な業績 メートル法&ローマ字の普及

（公財）上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

内科・循環器内科・腎臓内科・皮膚科・人工透析内科
医療法人 長清会

NAGAOKA 長岡医院

院長 櫻井清陽 理事長 長岡由女
医師 長岡美里 医師 長岡迪生

内科 診療時間 / 9:00~13:00 14:30~17:30
皮膚科 診療時間 / 14:30~17:30 (火曜日・水曜日・金曜日)
休診日 / 日曜日・祝日・木曜日

上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

山口クリニック

院長 山口寿功

診療時間：平日9:00-12:30 14:00-18:00
水曜・土曜：9:00-12:30
休診日：日曜・祝日・水曜午後・土曜午後

上山市四ツ谷 1-6-35 TEL677-0050

原田眼科医院

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	●

木曜・土曜 12時まで / 休診日：日曜・祝日

上山市十日町 9-2
023-672-0008

永田歯科医院

Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00
PM 2:00 ~ PM 6:00

休診日 日曜・祝日・木曜

上山市元城内 3-62
672-0215

10月 挑戦!

上山のそば・ラーメン 全店制覇

期間 9月1日(金)~12月31日(日)

「上山麺類食堂組合」加盟店18店舗で食事をして豪華賞品を当てよう!

全てのスタンプがそろったら抽選で「上山産高級ワイン」を20名様にプレゼント。詳細は 上山のそば・ラーメン全店制覇で検索

(一社) 上山市観光物産協会
023(672)0839
http://kaminoyama-spa.com

♥愛車に Make-upを……

鈑金・塗装・車検

〜承ります〜

東北運輸局長認証工場

創業45年 E 有限会社 遠藤ボデー

〒999-3122 上山市仙石1121-1
TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭

(株) マルシン葬祭社

寝台車(霊柩)・ワゴン・マイクロバス

上山市久保守4005の10
023-672-4242
023-672-4470
E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

上山温泉秋祭り『踊り山車』

― 屋台山車の記憶 ―

踊り山車振興会 小松正明

上山温泉秋祭り『踊り山車』 ― 屋台山車の記憶 ―

昭和八年八月、中十組(中十日町の山車)で『法被返上事件』がありましたが、その年、播磨屋は上十日町と契約して上十日町の山車で踊っていました。どの芸妓を踊らせるかという事は消防団の沽券にかかわる事だったので、消防を辞めるという意思表示に播磨屋の玄関先に法被を畳んで置いてきたのです。

当時の消防は警察の委嘱で町の治安の要だったので職務を放棄したという事で大問題となりました。事件の收拾を図るため岡村利三郎氏(部長)と町中老連が町内に諮って寄付金を募り、神明造りの屋根に総檜造

りの立派な山車を作り、翌九年八月に盛大に繰り出しました。大口寄付をしたであろう石井惣治商店前の出発時の記念写真が残り、その山車は平成二十一年大改修をして現在も曳き回しています。

そのお披露目の写真に写る出し物演題は『四季三番叟』でした。一体どういう踊りだったのでしょうか？

三番叟とはよく聞きますが、何々三番叟がいっぱいあって、踊り山車ではよく踊り初めの祝舞や納めの千秋楽の演目で披露されます。第三十回(二〇〇九年)では赤堀つる叟師匠の『福寿三番叟』、第二十六回に『叟紫庵三番叟』山形舞子では第二十八回から九回も『寿三番叟』が披露されています。

『三番叟』とは能の祝言曲、父尉、翁(ちのしやう)の後半に狂言方が三番目に

演じる舞の事です。

室町時代から父尉を省くようになりましたが、そのままの呼び名で猿楽師が演じて大蔵流では『三番三』と書きます。翁の舞いが天下泰平を祈り、三番叟は五穀豊穡を祈って舞われます。直面(ひためん)で舞う揉みの段と黒尉面(くろじやうめん)で舞う鈴の段があります。とここまで調べていちいち知らない言葉だけで何の事だかちっとも理解出来ません。「ドント・シンク、フィール」とブルース・リーも言っていますが千年の伝統を短い言葉で理解するのは鼻から無理という事なのでしょう。「習うより慣れる」が結論かも知れません。そうして他の多くの芸能と同じように宗教的で神聖な能から猿楽能(能をまねたもの)に変化して狂言の演目となり、人形浄瑠璃芝居から歌舞伎の演目、舞踊と一般

に広まって喝采を浴びるようになりました。能から見るとまねてくずしたもの、歌舞伎舞踊から見ると神聖なものとして扱われました。芝居の年中行事が整ってからは能の『翁』にならない、顔見世、正月の仕始め式、劇場の新築開場式などに「翁渡し」と称して『式三番』を舞うのが決まりとなったようです。なるほど、中十組の山車屋台の新築お披露目に三番叟というのは芸術的には定番だった訳です。

そして「四季三番叟」です。「四季三番草(さしはらう)」とも言います。開曲は一八三八年作詞三枘屋二三治、作曲は二



世清元齋兵衛。二世清元延寿太夫が初語りをしたと言われています。

清元の軽やかな寿ぎの舞踊『四季三番叟』は数ある三番叟物の代表曲『式三番叟』をもじって洒落っ気と粋な心意気を感じられて清元の特色を生かした名曲だそうです。四季の花や樹木を歌詞の中に織り込み、三人で踊り分けていくものです。とは言っても私は観たことがありません。

さて、昭和九年に新築した中十組山車(いろは山車)は来年九十歳! 出発式の祝舞で披露して市民に観てもらおうのも一興かなと思います。

上山がもっと元気に
なりますように。

私たちは、そんな願いも込めて
山形新聞を毎日お届けしております。

～新聞をもっと身近に!～

山形販売(株) 山形市旅籠町2-5-12
山形メディアタワー6F
☎023-635-6111

上山営業所 上山市弁天2丁目
☎023-672-0259

上山南営業所 上山市石崎1丁目
☎023-673-3541

美咲花咲き
パークグ
かみのやま温泉駅東口
とても便利です!!

キッチンカー などの
出店(短期・定期)も、
随時ご相談承ります。

☎673-1895[鈴木]

こんな困りごと
ありませんか?



宝石・メガネ・時計

タニエ

上山市石崎2丁目1番33号

☎023-672-0364

携帯:080-3330-6973

わが町再見 『藤井松平』 ③ 「松平信将侯」 2 「見目原騒動の前夜」

鎌上 宏
(水岸山観音寺住職)

前号で信将侯時代初めに疫病が流行るなか町方・在方に観音堂などが建立され地域民の絆が深まっていたことを紹介しました。しかし、一七〇〇年代前半の信将侯時代は疫病、天変地異があり、蝗・ウンカの害虫発生、大洪水による米穀不作、結果として飢饉が続きました。

上山役所、賄い方鈴木某が賭博借金で行きづまり切腹する事件が発生、二才の男の子は成人するまで身柄お預けとなりました。給金が少ない質素な生活に何らかの気惑いで博打をしたのでしょうか。年号改まって延享(一七四四)になり幕府は「古金(貨幣)」通用のお触れを発し、財政施策にあの手この手を講じます。

雨で二日町、十日町、裏町、北町、新丁の大洪水被害の様子も綴られています。これは「関東、北国に山つなみ」「百年来の大変事」と続き記されています。領内では人足数千人が復旧にあたりました。緊急災害指定による財政出動です。しかし、この原資は役所備蓄からゆくゆく農民負担に変えられていきます。

先ず寛保三年(一七四三)七月に、甲石村で大洪水が発生し、農家・田畑が洪水で荒らされました。単純な自然災害ではなく米増収のため新田畑を切り拓いた結果、山林原野の保水力が失われていったという背景が新しく指摘されています。

さて、先の北の甲石に続いて東郷村、南の金山村、榎下村などで山津波が発生、ご城下「三町共に一面に水押し入り」と領内一円大水が出ました。榎下村で一昨年本陣塩屋の新築にあたり土蔵の解体調査が行われましたが、土蔵壁に出水被害のため造り替えたという棟梁墨跡があり、古記日記(17)の記録と一致しました。榎下村の山津波ばかりでなく、同時に前川上流の多

延享元年(一七四四)、延享2年(一七四五)は凶作で、米価が高騰しました。幕府施策と諸藩の細かな関係事情をここで詳らかにすることは出来ませんが、「上山ご家中山下源治と申す侍の弟で山下八弥という侍が身の上下不如意につき江戸詰め勤めかね江戸詰めが思わしくなく」、国へ帰って兄の宅に身を寄せて金子才覚して再び江戸に上ろうと心がけ「ていまし(た)が、

元禄を過ぎ八代將軍吉宗の享保の改革(一七一六)の頃から武家が富商に比べ貧困化し末端の藩士たちの生活は質素を極めました。あろうことか九月

生。延享三年(一七四六)五月、山形町民が二夜かけて談合し千人ほどが七日町、十日町、八日町の米屋を襲撃、「家を打ちこわし、散々に打ち散らした」ところが山形城主堀田正亮氏は老中に抜擢され下総佐倉(千葉)へ転封、配下家中は旅立ち途中で吉原村にいて、また次の領主松平和泉守乗佑氏はまだ入部にならず市中取り締まりが疎かだったところ、「松平家の町奉行は(狼藉衆でなく当の)三軒の米屋を呼び出し(呼び出さざるを得なくなつて、平日の心がけ宜しからずと米屋を籠(牢)に入れた」と他領のことんが

「その兄は才覚なく弟八弥は行き詰ま

ら書き(聞き)とどめています。

つて切腹」しました。弟の切腹かなわず兄源治が介錯あろうことか遺骸を放置、ことが露見し取り調べとなりました。しかし、兄介錯せずとも死に果たたとの評議で、兄は「永のお暇下され山形領へ所払い」と締めくくられています。まことに前代未聞のこと、森鷗外著『高瀬舟』と同じ顛末の事件が世を覆っていました。

また、歴史の隘路というべき事もありました。享保年間、全国や福島で騒動が発生、その情報が出羽にも及んだのでしよう、山形城下でも事件が発

生。延享三年(一七四六)五月、山形町民が二夜かけて談合し千人ほどが七日町、十日町、八日町の米屋を襲撃、「家を打ちこわし、散々に打ち散らした」ところが山形城主堀田正亮氏は老中に抜擢され下総佐倉(千葉)へ転封、配下家中は旅立ち途中で吉原村にいて、また次の領主松平和泉守乗佑氏はまだ入部にならず市中取り締まりが疎かだったところ、「松平家の町奉行は(狼藉衆でなく当の)三軒の米屋を呼び出し(呼び出さざるを得なくなつて、平日の心がけ宜しからずと米屋を籠(牢)に入れた」と他領のことんが

ら書き(聞き)とどめています。

上山一大事件への伏線を見てきますが、この後に「見目原一揆」を見ていきますが、上山諸資料は他国とのつながりを多く書き記しはじめています。幕藩の平和も百年が経つと、消費者武家の財政の手立て、新田開発、新貨幣運用策など弥縫(修繕策)の手を打ち出さざるを得なくなりました。一方で自然災害が広く顕在化し上山での一大事件につながっていくことになるのです。

参考文献:「上山市史」、「藤井御殿記」①、「上山年代略記」②、「上山郷土史」③、「上山三家見聞日記」④、「奥海道五巴」⑤などを参照しました。

蟹仙洞



開館 9:00~16:30
休館日: 毎週火曜日

上山市矢来4丁目 023-672-0155

斎藤茂吉記念館公開講座
-茂吉入門-
講師: 秋葉四郎(館長)
11月12日(日)/無料

写真と絵画で
観る斎藤茂吉
特別展
会期: 2024/3/31まで

※詳細お問合せください
休館: 水曜日、12/28~1/3
斎藤茂吉記念館 北町字弁天 672-7227

講演会

天翔ける獅子
-建築の巨人・佐野利器

講師: 宮野悦夫氏 (山形県産業科学館館長)

■日時 10月22日(日) 14時開始

■定員 40名 (事前予約制・先着順)

■申込締切 10月21日(土)

■料金 上山城入館料

※お問合せ・お申し込み

上山城

上山市元城内 023-673-3660

◆連載◆ふるさとへの便り 第七〇回

武田 幹雄
(上山出身・千葉市在住)

昭和の教育者として多くのメッセー
ージを残した無着成恭さんが七月二
十一日、九十六歳でこの世を去った。
お会いしたことはない。思い出と言
えばTBSラジオ「全国子供電話相
談室」熱心なりスナーではなかった
が、山形の方言を交えて、子供の素朴
な疑問と無理難題にユーモラスに答
える無着さん。四十四年続いた長寿
番組の回答者だった。

無着さんを有名にした「山びこ学
校」という学級文集。山形師範(山形大
学)を出た二十一歳の青年教師が、バ
スも通わない僻地一級校の山元中学
校に赴任。受け持った四十三人の生活
綴り方文集を世に送り出した。当時
の行政区分は南村山郡山元村。上市
に編入合併したのは一九五七年(昭和
三十二年)。

戦前の皇民教育から俄か民主主義

社会派の今井正監督。無着さんを木
村功、父役を滝沢修が演じ、岡田英
二、東野英治郎、殿山泰司と、当時の
名だたる俳優が名を連ねた。映画は
制作中、資金不足に陥り、救いの手を
差し伸べた県教組の駒沢常治さんは
当時、副書記長兼総務部長。上中卒業
生とバスケットOBのたまり場、東
京・日本橋「ジジ&パバ」駒沢幹夫君
の父君。

終戦の日、後輩のK君が「自分の原
点は中学時代にあると思う」とコラ
ムに書いていた。K君は私立明星学
園の卒業生。無着さんは数年後、山元
村を離れ駒澤大学で仏教を学び、明



「写経会」：毎月第4土曜日9時から
「ご詠歌会」：毎月第1水曜日1時30分から

最上三十三観音第十番
上山三十三観音第一番

水岸山麓眼院 **観音寺**
山形県上市十日町9-29 電話023-672-1421

**吉井内科胃腸科
クリニック**



診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00

院長 **吉井 英一**
023-673-7515
上市市金生東一丁目10-15



星学園の教諭から教頭になってい
る。通信簿はなく小中高十二年の一
貫教育校。国語の授業は詩の音読、社
会科では徹底的に反戦思想をたたき
込まれたという。

猛暑が続い
た九月初旬、千
葉県香取郡多
古町の一鍬山
福泉寺を訪ね
た。乞われて住
職を引き受け、
私財を投じて
無着さんが再
建した寺。来意

に変わった教育の混乱期。文集は、や
がて日本中の耳目を集めることにな
る。はじめは「きかんしゃ」というガ
リ版刷りの文集が、中央の教育者、マ
スコミに知れ渡り「山びこ学校」と名
を変え青銅社から出版。すると瞬く
間に十二万部を売り上げるベストセ
ラーとなった。僕が手にしているの
は二〇二二年、岩波文庫から出た二十
六刷目。東北、山形の寒村の生活が、
子供の目に映ったありのままを、山
形、村山地方の方言で紡がれている。
上市市内からわずか十数^キ。大平山
(七一四^ハ)の向こうの生活風景だ。
その中で江口江一さんの「母の死と
その後」は文部大臣賞を受けた。医者
にも行けず死んだ母の三十五日法要
の後、弟が母の実家にもらわれてい
く。家の仕事の合間に学校に行く生
活を何とかできないかと、級長の佐

藤藤三郎さんが話し合い手助けす
る話。農地が解放されたとはいえ耕
地面積が狭い当時の生活が手に取る
ように分かり、読み進めるほどに切
なさがこみ上げる。

無着さんと「山びこ学校」のその後
は「遠い『山びこ』」(佐野眞一、文春文
庫)に詳述されているが、卒業式で
「この三年間、本物の勉強をさせても
らった」と答辞を読んだ佐藤藤三郎
さんは上山農高に進み、往復三十^キの
道のりを自転車を通った。無着さん
を一番知る一人で「底流からの証言」
など多くの著書がある。この「かみの
やま」にエッセーを寄せている佐藤
藤三郎さんだ。

「山びこ学校」は発行後一年で映画
化されている。注目度が窺い知れる
が監督は、その後、被差別部落を描い
た「橋のない川」でメガホンを取った



福を祈りたい。

**七五三写真
前撮キャンペーン!**
10月撮影1,000円
12月撮影2,000円
合計金額より割引中!

各種証明写真承り中!

高橋写真館
SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 完全予約制
営業時間 9:00~18:00(日祭日17:00)
mail: info@takahashi-photo.net
上市市十日町8-5 定休日:火曜日

連載随筆 ⑩ 思い出の始末

橘 千枝
(エッセイスト)

母が亡くなって一年あまり。親が不在の人生は遅かれ早かれ誰もが経験することだが、「娘」ではない、一人の人間として生きて行く覚悟が定まると同時に、これまで生きて来た、人としての器量も改めて露わになるような感覚がある。残されたものが単なる「ごみ」になるかどうか、それを残した人間の器量次第だろう。親の価値観から逃れて、やっと自分の尺度で生きられる気がする。

ここ数年ずっと、空き家となった実家を片づけている。古い道具や家具を処分するにも時間と経費がかかったが、意外に大変だったのは、旅行三昧だった両親の残した大量の観光パンフレットなどの数々。観光地のマップや絵はがき、旅館案内はもちろん、著



袋や飛行機の機内食の添え物さえ。「何でこんなものまで取っておくんだ！」と一人で愚痴を言いながら次々とゴミ袋に放り込み、それだけで何十袋あったことか。昭和の旅行は何もかも目新しかったのだろう。

気軽に旅行に出かけられるようになったのは社会の豊かさの現われだ。戦時中に青春時代を送った両親にとっては幸せな時間だったのだ。家族旅行に加え、職員旅行や同窓会、親戚兄弟姉妹との旅行。海外ツアーもたくさん。行った先々の地名や名称が書いてある飾り物やキーホルダーも山ほど。マツチ箱はもちろん、ご当地の酒瓶の果てまで大量に遺されてあつて辟易した。

しかし血は争えない、私も実は旅好き。あちこち行けば、ほら、あれもこれも持って帰りたいくなる。持ち帰って来たなら、しばらくは眺めて思い出に浸るけど、その後の始末に困る。最初のうちは、きちんとファイルにまとめていたが、最近はおちこちに散らばって

いる。まずい、このままでは同じことになつてしまう。

だってほら、この箆袋、裏にご当地温泉小唄が書いてあるし。このホテルも良い思い出だし、もう二度と行くこともないだろう高級なところで…。息子は「さんざん文句を言っていたから」「そんなもの残されても困るんだからな」と冷たい目を向ける。だってえ、いつかまた見るもん。もうどこにも行けなくなつたら、思い出に浸るんだもん…と、いくらでも言い訳が湧いてくる(汗)。

終活や断捨離なんて言葉のない時代を生きた人たちは、すべてを残していなくなった。大量生産大量消費の時代以前は、残すことが財産にもなったから疑問にも思わなかっただろう。実家も明治・大正どころか、うっかりすると江戸時代のもので出て来るから、もはや断捨離うんぬんのレベルを超えている。

しかし両親を見送って想うのは、生き方は自分で選んでも、死に方は自分の思いどおりにはならないということ。今は、自分でどこにも行けなくなつ

たら、写真や旅行ファイルを眺めたり、せいぜい庭の花木の手入れをして過ごすなんて考えているけど、そんな「計画」はあつて無きようなものだし、ということを教えられた。

若い頃は考えもしなかった「あと何年ある?」。思い出は、それを体験した人間だけのもので、周りにとっては「ごみ」同然だ。本当に大事なものと、今の自分にとってだけ大事なものを分けておこう。そしてまた旅に出て、生きていく喜びを噛みしめよう。それが、今できる精一杯の終活と想っている。


いい秋にしようね。



ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか!

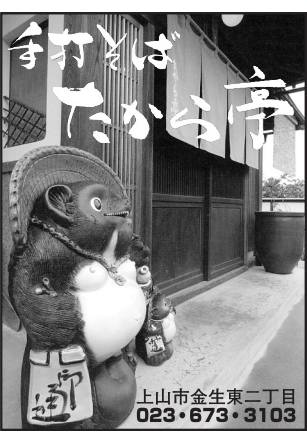
ムース♥デコ



♡ニキビ・吹き出物 ♡美白・リフトアップ
♡毛穴の黒ずみ ♡毛穴の黒ずみ
♡シミ・小じわ ♡手の荒れ
♡アトピーなど 特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー!

アライ美容院
ご予約:673-3002

手打そば だから亭



上山市金生東二丁目
023・673・3103

『殉難二輪草』を鑑賞して

桜井和敏
(山形市在住・上山市出身)

第22回国際音楽の日記念演奏会が令和5年9月9日(土)、山形市中央公民館(アズ七日町)で開催されました。山形音楽振興会が主催の年1回の恒例行事で、私は発足当時から当会員として出演したり推進に携わっております。邦楽と洋楽の融合をテーマに演奏会や講習会・研修会を通してながら本県独自の音楽活動を展開してきました。これまでのプログラムを見ても邦楽の団体、洋楽の団体、それに邦楽器と洋楽器を取り入れた演奏などが渾然一体となり、邦楽と洋楽の融合のテーマに沿った形となっております。

特に今回のプログラムで注目を引いたのはステージ1の大内隆作の『殉難二輪草』だったのでないだろうか。池田青水氏による琵琶弾き語りの熱演に嗚咽、すすり泣いた人も多かった。

あの事件のことを忘れたことがありません。教え子が命に係わるような問題・事故は無く無事に職歴を終えた自分は本当に幸せでした。あの事件から53年の星霜を経ているが、私たちが同期生は決して風化されることなく語り伝えてゆかねばならないと思っております。幸いにも琵琶演奏によるこの度の企画『殉難の二輪草』は池田青水氏による新作であり、しかも本県にゆかりのある物語ですので、あの水難事故をご存知の方や私たち山大同期生は是非鑑賞してみたいと思つたに違いありません。

ステージのスクリーンに殉難の碑

たと思います。

実は1970年(昭和45年)4月24日、最上郡戸沢村古口小学校柏沢分校で起こった渡し舟の転覆事故を題材にした悲劇の物語です。

教諭の伊藤弘、小関正芳両名による殉職については当時大きな話題となりました。両教諭は運動会練習のため児童8名を白糸分校に引率しての帰りでした。渡し舟のエンジンが突然外部に火を噴き出し、大騒ぎとなり舟がバランスを失って転覆したのです。先生、生徒全員が水嵩も増した流れも速い最上川に投げ出されました。両先生はとっさの判断で生徒たちに手を組ませ円陣を作るよう指示したそうです。これは正しい判断だったと思います。そうでなければ生徒たちは散り散りばらばらになってしまい、救い様が全く無いどころか全員が溺死に至つ

と事故があった現場の最上川を背景に口上の内容をモニターで表示されたのも大変解り易かった。

【参考資料として】
殉難の碑には次の銘文が刻まれています。
『おのが身はかへりみずして 教え子の生命護りし 人ぞ尊き』

文部大臣 坂田道太
殉難教師を偲んで
一、雪解け水の 最上川
濁流 渦巻く 渡船上
エンジン火を噴き 諸共に

た事だろう。やがて助け舟が到着し懸命に救助に当たった両先生の活躍振りが目に浮かびます。わが身より生徒たちを助けなければならぬ使命感に渾身の力を振り絞って救助に当たったに違いありません。しかし、生徒全員が救助されたのを見届けた後、力尽きて水中に没してしまつたのです。新採教師としてたった2年余り、事故に遭わなければ前途洋々たる二人の青年教師は大きな希望に燃え、将来どんな教師像を描いていたことだろうか。その青年教師の殉死を悼み、翌年の4月28日に事故が発生した最上川のほとりに『殉難の碑』が建立されたのです。

殉職者の小関正芳氏は私と同じ山形大学教育学部での同期生です。殊更他人事とは思えません。私は教職を去って早18年になりますが一時も

押し流されし 川の中

二、慌てず 子らに 腕組ませ
与えし 指示も 手際よく
助けを見届け カつき
水に飲まれし 君あはれ

三、最上の流れ 変わりなく
君のおこない 永遠にはゆ
教えの神に 祭られど
帰らぬ君を 惜しむらん
若きいのちを 惜しむらん

【後藤留吉作詞、斎藤次郎作曲、三森聡採譜】

いも煮
2~3人前
(6コ入り)
¥6,600 (税込)

地元「上山」のお土産に!!

丸松物産株式会社
山形工場 上市市新北浦3番地
TEL.023-673-5511
http://www.marumatsu-mb.co.jp

手づくり洋食を
ご家族連れどうぞ



レストラン
駅東口より徒歩5分

イビサ 023-673-3034
営業時間 11:30~21:00 (日・祝) 11:30~21:00 (祝除く)

ご商談・ご宴会に
二階宴会場をご利用下さい



石臼挽きそば

みつひろ
上市市新湯6-34
TEL.672-3815

山形大学花笠踊りグループ「四面楚歌」のことなど

大武 芳子
(上山市出身)

高校一年になった孫の一人が今年の花笠まつりに参加した。

「山形大学の『四面楚歌』の人から教えてもらったよ。」 あ、あ、なんと運命の巡り合わせだろうか。

山形大学教育学部の教員だった時代の事である。



挿画：村上百花

初代の花笠まつりの部長さんは女性であった。体育館は一つしかない時代でもあり、部長さんは活動する場所を確保するのに困っていた。バスケット部、バレーボール部等は男女共に練習をする。花笠踊りは外でもやる事は出来ても雨の日は困る。

私は国立大学・私立大学合同の研究会に学生と共に参加していたので、春から夏にかけてはダンス部を中心に有志を集めて練習する。舞台稽古なので、裸足で踊り、床の感覚をとらえなければならぬ。雨の日が続いて、外での練習が出来ず困ってしまった部長さんが私の所に来た。

「芳子先生、三十分くらいでいいんです。私達に場所を貸していただけませんか」

「四面楚歌状態か。三十分位ならいいでしょう」

「はい、ありがとうございます。」

彼女は涙ぐんでいた。私は自分が中学校の教師から大学の教官になった第一号だったので、四面楚歌は私の心理状態であったのである。みんな優しくなかったからこそ成立するのに……。そういう事を理解するには時間が必要なのである。

「花笠踊り部」から「四面楚歌」になった経過には、初代の部長さんの並々ならぬ努力があった事も受け継いでもらった。

漢字に強くなる本々光文書院から引用

【四面楚歌】

楚の項羽は漢の劉邦と天下の覇を争い、五年間に渡って血みどろの戦を繰り返した。紀元前二〇二〇年のことである。兵は少なく食料も尽きていた。夜になると何処からともなく歌声が流れてきた。東からも西からも、南からも、あるいは遠く、あるいは近くからも、みんな懐かしい楚の歌なのだ。項羽は四面楚歌を聞き、「漢はもうすっかり楚を手に入れてしまったのか。なんとまあ楚人が多いことよ」と嘆息した。見事な張良の歌声作に引っかけってしまったのである。漢軍にくだった楚の兵士達が歌ったものだった。【史記】



◆おかげさまで売れています！

ゆるゆるシリーズ

「猫の手マドレーヌ」
「わんわんドーナッツ」
「しっぽフィナンシェ」



十三屋本店

上山城登り口西六七一〇一六九

協賛していただける
スポンサー様を募集
しております。

文化的に潤いのある故郷
づくりに、少しでも寄与出来
たらという願いをこめて、
2001年5月号より発行し
続けております。

ご協賛頂いたら幸甚です。

ご連絡は

☎ 023-672-8581

まちcafe2011

どんどん焼き

チーズ入りどんどん焼き

男爵ブレンド

ドリンク各種



営業時間 11:00～

場所 荘内銀行上山支店さん向かい

駐車場は市営二日町駐車場をご利用下さい

NPO法人 上山まちづくり塾

管見の楽しみ 第四回 葵のご紋との出会いなど

犬石 秀実
上山市在住

前回ご紹介した月岡の西堀でのいかだ乗りは、楽しい遊びでした。いかだで堀に漕ぎ出した浮遊感、放課後の解放感、堀に斜めに差し込んでくる初秋の西日のまぶしさ、月岡様のケヤキの葉の間から見える青空。しかし、私なりに罪悪感もありました。どこから持ってきたかわからない木材を堀に浮かべいかだ乗りをするなど、私自身いかなものかというものかという思いが初めからありました。鈴木孫作校長に危険を諭され、しばらくは自宅謹慎をしたことを覚えています。

季節は晩秋になっていました。窓からは庭の赤い柿の実、遠く蔵王の峰には青空を背景にすでに白いものが見えていました。自宅謹慎といってもテレビくらいは見てもいいことにしました。「水戸黄門」の再放送が3時ごろから流れていました。そのころ子どもが暇に飽かせて見ることができるのは、そのような番組しかありませんでした。

まず、旅支度の黄門さま一行が宿場町に入る。うっかり八平が笑いを取る。次に悪代官が登場。悪事の顛末が

あり、「助さん、角さん、やってしまいなさい!!」東野栄治郎の掛声でチャンバラがあり、いい頃合いで「この紋所が目に入らぬか」で有無を言わせぬ決着。不正に対する絶対権威を印籠が持つていることに何かふしぎなものを感じました。毎回、同じようなストーリーの展開が気に入りに、寄り道もせず急いで家に帰り、ドラマが始まるのを待ったものでした。里山に雪が降るころには、「次回のは、黄門さまは上山に来ないのかな。」とスーパーヒーローの登場を楽しみにするようになっていました。

正月になりました。初詣に最寄りの神社である月岡神社へ行くことにしていました。賽銭、鈴を鳴らす、二礼二拍手一礼、と一連の所作を滞りなく行い、ほっとして石段を下り社殿の方を振り返ると、紫の神前幕の紋が目に入りました。「おお、あの葵のご紋。黄門さまが上山に来たのか」などと喜ぶのはものを知らない私だけでしよう。月岡神社の葵のご紋の発見の喜びが冷めやらぬ帰り道、



葵のご紋に、また出会いました。浄光寺の立派な山門を飾る前幕に葵のご紋。



早速、市の図書館に行つて調べてみると、水戸黄門は水戸光圀といひ親藩である水戸藩の藩主、上山藩の殿様は藤井松平といひ、徳川家康と親戚関係で譜代大名。月岡神社は、城跡に藤井松平がまつられてあり、浄光寺は藤井松平の菩提寺という理由で紋は三つ葉葵。鈴木さんとおっしゃる当時の図書館司書の方に本

を紹介してもらったりいろいろ親切に教えてもらったりしました。わかったことはざっと上のようなことです。新たな知見に大喜びの私でした。

後に「副將軍という役職はなく、水戸光圀は全国行脚をしなかった」ということがわかり、「何だフィクシヨンか」というのがっかり感を今でも思い出します。さらに、浄光寺の紋も似てはいるものの、葵の紋ではないことがわかりました。落ちが2つも続きました。後日談です。

しかし、葵のご紋を調べることで徳川家康という日本史上のスーパーヒーローとその親戚の藤井松平に出会えたことは幸運なことでした。「管見のたのしみ」の出会いでもありました。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店
最適な補聴器。プラズミンモライト。

デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴貸出”中!

耳あな型片耳価格 138,000円
ボリュームコントロール付 148,000円(片耳・非課税)
248,000円(両耳・非課税)

計測器付
メガホン付
補聴器

エフパルク
F・parc 佐藤

〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)
TEL.023-672-0207

いなげ花店



上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)

駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ

各種ご贈答にも最適



上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

「山内典子遺書」の謎【第二回】

板垣和男
(文芸愛好家・上山在住)

本号では「山内典子遺書」が市の文化財指定に至るまでのおおまかな流れを纏めています。

(3) 山内典子遺書(典籍)市文化財指定

1. 上山市文化財指定物件

- (1) 指定番号 市宝第七七号
- (2) 種別 典籍
- (3) 名称 山内 典子 遺言書
- (4) 所在地 上山市元城内六番一号
(当時の市民会館内。ここに市立図書館併設)
- (5) 所有者 上山市
- (6) 所有者の住所 上山市河崎二丁目一番十号

2. 上山市教育委員会告示第十一号

上山市文化財保護条例(昭和三十年十月条例第二七号)第四条の規定により、上山市文化財として指定する。平成二年八月二三日

3. 文化財調査会への推薦調査 平成二年三月二八日調査会への資料

『土佐 山内豊福夫人典子遺書』典子は上山藩主藤井

浄桜君(松平信寶)御長女山内遠江守豊福の夫人典子の方御遺書

※この解説の読み下し文章は、これまでの文献資料にあるものと異なる。初めて目にした。P一七二とあるが、何という出典からのコピーであるかがわからない。この添付資料コピーには、『この御書浄桜君(信寶)御みづから毛利敬太郎某娘へ給はり、今に所持するといふ』と記載されている。

この出典は、何からのコピーかわからないでいる。読み下しや遺書の所在が書いてあるのは、寺尾英量稿本とおなじであるが……

また、寺尾英量稿本には、信寶が直接毛利孫平治の娘某へ賜はり、と上山藩戊辰の役後始末録には記述されている。

父信寶が毛利氏の娘に給わるとある。毛利孫平治と毛利敬太郎は、親と子。娘とは？

松平氏十四代信寶息女(十五代信庸の姉)

山内撰津守豊福は、土佐藩山内家の分家で、代々江戸府で一万三千石の家柄である。

夫人典子は藤井松平氏の出である。戊辰正月三日慶喜侯の上洛を、薩・長・土三藩で、これを遮り伏見の事変が起る。慶喜は江戸城に帰り、江戸在中の大名を江戸城に招集して、全員の面前でそれを詰責され、面目を失した。自邸で潔く屠腹して陳謝しようと決意、夫人と共に自刃したが、その時に書き残した遺書(夫人直筆)である。信庸(弟)に遺言書を認め、身辺を整理し取り乱したこともなく、同十四の夜、夫婦共に自刃した。

4. 推薦の理由又は意見

本遺書は、上山外史の資料として、また慌ただしい政変のなかでその裏面史の資料として明治維新の貴重な典籍である。

平成二年六月二八日 典籍として指定されるよう推薦する。 推薦者氏名 井上啓氏

5. 添付資料

遺品コピー 解説書一通別添コピーP一七二

・信寶は明治五年三月七日逝去している、その前に毛利家の娘に渡っている。その後、この遺書は、どのような経緯から上山小学校にいったのか、上山小学校の図書室の本から発見されたことは、はっきりしている。

◎この遺書の解説された読み下し文の中には、典子夫妻の二人の娘のくに・とよの名前がある。

6. 典子遺書にある二人の娘の名前「くに・とよ」がある文献は、この添付資料解説文のほか「上山町史」が初見。
 - ・山内莞爾著(上山市史資料集12 昭和50年)
 - ・寺尾英量稿本(上山市史資料集22 昭和52年)
 - ・木村清三郎著(月刊かみのやま) 平成19年

(この項つづく)

※編集部からのお詫びと訂正

前号において宮尾登美子著「菊籬」のルビを「きくり」と表記してしまいましたが、「きくまがき」が正しい表記でした。お詫びして訂正致します。

ソフトクリーム(バニラ)
ソフトクリーム(ヨーグルト)
コーヒーフロート
(カップ)ペゴの愛すクリーム
ヨーグルト(プレーン)
ヨーグルト(クリーム)
ワッフル
ピザ(Sサイズ)
ピザ(Lサイズ)
コーヒー
コーヒー牛乳
牛乳



〈牧場体験は要予約〉

Limited Company ZAO
MOUNTAIN FARM



〒999-3114

山形県上山市永野2191-23
TEL・FAX 023-679-2150

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社

山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL.(023) 673-1114 FAX.(023) 673-1115

有限会社

大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大崎村駒場字砂右衛門橋 3-162
TEL.(022) 345-5378 FAX.(022) 345-5378

金子という名字の人

佐藤藤三郎
(著述業 農業)

八月一日、東京農業大学の教官であった宮田さんがわが家に来訪された。学生のときにも三〜四人の仲間と来られたことがあって、その日と同じ日にまた訪ねてみたくなって来られた、と言っていた。あの時は夏蚕の繭出しの作業を手伝ってくれたことが私の記憶にはっきり残っている。彼もまたその時のことをよく覚えていた。

その時の彼の仕事ぶりのマジメさが私の頭にいまだよく残っている。対してあとの二〜三人の学生は彼とはまったく違って、手も足もろくに動かさない人たちがばかりであることも忘れていない。

宮田さんはそのようにマジメな人であったから、大学に残って教官になれたのだろう。さらに教官になってから、大学のバスで二〇人ほどの学生を連れてわが家に来られ、稲刈りの作業の実習をされたこともある。午前にそれを行い、昼は芋煮を食べ、そのあと私が一時間ほどおしゃべりをした。しかし学生たちの感想は私の話よりも、その時芋煮を作ってくれた二人の村の母ちゃんたちの話の方が面白く楽しかった、という手紙が届いた。

まず、それは余談であって、宮田さんとはそのような長いお付き合いがある人だということでは本題は次のようなことだ。

その日に彼の武田さんは、母親の生まれた家の家系図を持参して来られ、見せて下さった。それには訳がありそうだった。

明治以前には「平民」といわれる人たちには名字はなかったはずである。それが黒森の彼の母親の家には江戸時代に「金子」という名字があったのだという。武田さんはそれを見せたかったらしい。その理由を彼は詳しく話されたりはしなかったが、その時の顔には「誇り」がみえた。

私はその理由をあれこれと察してみた。その一つが「黒森」というところの近くには「金」が出る鉱山があったということがあげられる。だから「金」という文字を「カネ」と読ませ、自分たちはその「金の子」であるといって「金子」という名字を名乗ったのではないかと、そんな憶測をした。私の住む村には金沢鉱山という金山があった。その鉱山から出る金によって最上義光公が山形の城を築いたという話が残っている。したがって義光公はこの金山で働く人の

宮田さんは大学の方は定年になって退職され、今は中山間の地域づくりの仕事をなされておられるとのことだ。隣村の長谷堂に大学での教え子であって、その武田さんと同行されたのである。

武田さんの母親は昭和の町村合併までは私と同じ山元村の黒森という集落の人で、隣村の長谷堂の武田家に嫁いでいる。私よりひとつ年上であるから、私は彼女のことはよく知っている。

黒森という集落は、わが家の前の道を黒森山の裾におよそ二・五キロほどのほったところの山奥にある。十二戸だけの小さな集落だった。それが高度経済成長といわれた時代にみんな村から下りてしまっただけで、今はそこに人は住んでいない。

その集落には「金子」という名字の家が六戸あった。ほかに寒江が三戸、小関が二戸、長橋が一戸であったが、そのなかで「金子」という家はいずれも大きな家であった。あのような山奥の集落に「どうして」と思わせるような立派なものであって、それらの家の住人たちはみんな優れた頭脳の持ち主でもあった。

その理由を私は考えてみたり調べたこともなかったが、

一部の人を平民よりも高い地位につかせていたのではないかと、そんな気がしたのである。といってもそれはあくまでも私の勝手な思いに過ぎないのだが、武田さんの顔にはそんな私の思いが映っていた。

といっても「金子」という姓は黒森だけにあるのではない。山口県出身の有名な童謡詩人の金子みすゞという人もいるし、そちこちにいる。だからそれらの人の祖先の住んでいたところにはみんな金山があったのか、などと問われれば私には答えることばはないが、しかし、あのような山奥の村であっても、そこに「財力」があれば「平民」ではない人がおったのではないかと、そんな思いがした。

しかし、そのような地元の財力が今はみんな失われ「金」ではなくて「原子」が「財力」となっている。

しかし、これが人の命を危ぶんでいる様を見ると、次に必要でかつ求めるべきものとは何だろうと、しんみりとそんなことを考えられる。

「上山小学校の運動会」

2023.10

〈まり入れ競争〉が大好きです。今年学校は、コロナと猛暑対策で大変なようです。

私が小学生の頃は春夏二回ありました。春は「春季大運動会」、秋には「秋季大運動会」の文字看板が校舎三階の窓に大きく掲示され、それを見てワクワクしたものです。またグラ

ウンドにはためく万国旗にも。今でもその思い出が蘇ります。

一年生から何年間か、春季（シュンキ）と、秋季（シュウキ）の読み分けが出来ず、毎年運動会の度に読み惑う子供でした。

〈お知らせ〉お城のかかし茶屋・駅観光案内所で、カラーの絵を見られます。

窮屈な休憩室

◆ 上山藩の幕末66

編集子

しろいし「歴史フォーラム」で聴いた

岩倉具視の怖しい話

慶応4(1868)年5月3日、奥羽列藩同盟が結成されると、同盟はすかさず公議府を白石城、軍事局を福島長楽寺に置いた。だいぶ前のこと(2017年)になるが、その公議府が置かれた白石のモダンな文化施設「ホワイトキューブ」で開催された「歴史フォーラム」が今なお脳裡をかすめるときがある。あまりにも衝撃的な内容を含んでいたからである。

そのとき特に驚いたのは、元NHK理事待遇アウンサー松平定知氏と大阪城天守閣館長北川央氏の対談だ。そのなかで北川央氏の口から語られた「岩倉具視」についての話であった。



「岩倉具視は、武力倒幕派の中心人物でありながら、奥羽、越列藩同盟にも薩摩・長州を討ち果たすべく、『檄』を

飛ばしていた」というのだ。

「えっ！どついうことだろう？」わたしは心底驚いてしまった。

いずれにせよ、参内を許されない下級公家のひとりすぎなかつた岩倉具視は、多くの研究者たちによっていまだに孝明天皇の暗殺を謀った陰の人物。首謀者とみなされている。そのこと一つを考えてみても、岩倉具視は武力倒幕後、天皇を中心とした政治(語義通りの尊皇)、あるいは薩摩・長州を中軸とする政權の樹立を本気で考えていたわけではなかったことを知るようになる。幕府を倒すために薩摩・長州を利用し、自らの野望のために孝明天皇の暗殺(嫌疑濃厚)まで企てていたのみならず、なんと倒幕派にとつて真逆の勢力である奥羽越列藩同盟に対する『檄』も、なんらためらうことなく飛ばしていたというわけである。

なんとも恐ろしいや、岩倉具視！

そういえば、直木賞作家中村彰彦氏の新著『孝明天皇毒殺説の真相に迫る』(中央公論新社・2023年8月21日刊)が結構売れているようである。



メンマの名付け親

丸松物産株式会社

山形工場 山形県上市市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
 東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>

かみのやま 温泉駅東口

蟹仙洞 ●

1F 美容室 シュシュ

2F 成蹊学習塾

●ゲオ

●ツルハ

抗がん剤治療で
お悩みの
あなたへ

医療用ウィッグの
購入支援及び
助成金が受けられます。

美容室 **Chou Chou**

<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>
 上市市矢来4-8-1 ☎673-6030

いさながて、大さなわ

ラベルパワー SHINWA LABEL

進和ラベル印刷 株式会社

〒999-3104 上市市蔵王の森10番地
TEL (023) 672-7577

東京駅5分、家族経営の温かな料理店

ママとパパ

上山中学校昭和40年度卒業
 上山小学校昭和37年度卒業
 さて、誰でしょう？
 変な頭が特徴です。

中央区日本橋2-2-15 日本橋テイトビル2階
 ☎03-3274-1797 上京の折、ぜひ来店ください。

栗川稻荷神社

上市市松山1-1-5 二鎮座
 社務所 ☎03(677)3510

御祭神 稲倉魂命
 元旦祭 一月一日
 例大祭 四月二十三日
 月例祭 二十三日

由緒沿革
 栗川稻荷神社は備中国庭瀬の城主松平信通公が城守護神として奉祀され、厚く信仰されてきたお社であります。

元禄十年九月出羽国上山に国替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を捧げたのであります。

大政奉還の後は現在地の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に県内はもちろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第270号 発行日 2023年10月1日
 編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
 〒999-3145 上市市河崎2-4-23 ☎090-3363-5978 FAX.023-673-2023
 発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村蔵六 編集協力/鎌上宏

上市市観光課 ☎03(677)1111
 上市市観光協会の ☎03(677)0839
 かみのやま温泉旅館 ☎03(677)1456
 上市市立図書館 ☎03(677)0850

上山城郷土資料館 ☎03(677)3660
 JRかみのやま温泉駅 ☎050(0)61600
 蔵王坊平観光協議会 ☎03(677)2111
 蔵王猿倉観光協議会 ☎03(677)2111

山交ハイヤー ☎03(677)1616
 観光タクシー ☎03(677)1111
 上山タクシー ☎03(677)1111
 上山レンタカー ☎03(677)4190

こんにやく懐石膳

お客様の接待、ご会合等にもご利用ください。



各種ギフト・お土産品もごございます

(発送も承っております)

楠下宿



株式会社 丹野こんにやく
こんにやく番所

フリーダイヤル 0120-08-2351

〒999-3225 山形県上市市榑下1233-2

TEL (023) 674-2351

FAX (023) 674-2515

<http://www.tannokonyaku.co.jp>

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭

◇ 時代屋

じだいや

☎ (023) 672-2451

<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名荘

MEIGETUSOU

〒999-3242 上市市葉山5-50

TEL.023-672-0330 (代表)

フリーダイヤル0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

仙溪園 月岡ホテル

〒999-3141 山形県上市市新湯1-33

TEL.023-672-1212(代)

かみのやま温泉 葉山



電話 023-672-0295

FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>